

## 令和6年度教育研究活動報告書

氏名	信木 伸一	所属	教職支援センター
学位	博士（教育学）広島大学	職位	特任教授
専門分野	国語教育学		

I 教育活動	
本年度担当科目	
	授業科目
学部	教育原理、教職実践演習、教育実習、教育実習事前・事後指導、学校体験活動、特別支援学校での体験、社会福祉施設での体験
II 研究活動	
現在の研究テーマ（3つまで）	
（1）言語文化教育史	
（2）伝統的言語文化の学習論	
（3）リテラシーの学習理論	
本年度を含む過去3年間の研究業績 R6・R5・R4（件数は追加可）	
R6	〈編著〉『明治期中学校読本教科書の編者作成「普通文」教材（本文資料）』（尾道市立大学、2025.1）単著 〈報告〉教職課程における学びの振り返り（尾道市立大学教職支援センター紀要第6号、2025.3）単著
R5	〈論文〉「学習者の「認識システム」にどう働きかけるか ―オートハイエース論から学習のありかたを考える―」（尾道市立大学教職支援センター紀要第5号、2024.3）単著 〈報告〉学校体験活動・教育実習・教職実践演習の振り返り（尾道市立大学教職支援センター紀要第5号、2024.3）単著
R4	〈論文〉明治期中学校読本教科書の編者作成教材における「普通文」―新保磐次『中學國文讀本』から弘文館『中學國文讀本』への改変―（『国語教育研究 第六四号』広島大学国語教育会 2023.5）単著
R3以前の主な研究業績（件数は追加可）	
	〈著書〉『明治初期和文教科書の生成―『本朝文範』における「普通文」への歩み―』（溪水社 2017.12）単著
	〈論文〉明治期中学校読本教科書の編者作成教材における「普通文」―新保磐次『中學國文讀本』・落合直文『中等國文讀本』・塩井正夫『中學國文』・物集高見『新撰國文中學讀本』の場合―（『国語教育研究 第六三号』広島大学国語教育会 2022.3）単著
	〈論文〉学生の言語運用能力のパフォーマンス評価―「研究発表」のルーブリックから―（尾道市立大学芸術文化学部紀要 第21号 2022.3）共著
	〈論文〉「主体的な学習活動でめざす学び」（『教職支援センター紀要第1号』尾道市立大学 2020.3）単著
	〈論文〉「新保磐次『中學國文讀本』における「普通文」その2 ―編者作成教材における文体的試みと三土忠造『中學國語讀本』への改変―」（『国語教育研究 第六一号』広島大学国語教育会 2020.3）単著
	〈論文〉新保磐次『中學國文讀本』における「普通文」―教材「藤樹先生」の典拠からの文体的変容―（『国語教育研究 第六〇号』広島大学国語教育会 2019.3）単著
	〈論文〉明治初期教科書『本朝文範』における「普通文」への歩み ―「旨趣の標」の近世古典注釈からの継承と近代教科書としての加工―（『日本教科教育学会誌 第39巻2号』日本教科教育学会 2016.9）単著 査読付き
	〈論文〉明治初期和文教科書の生成―『本朝文範』を中心に―（博士学位論文、2016.9広島大学）単著 査読付き
	〈論文〉明治教科書『本朝文範』の生成―近世からの脈略と明治教科書としての創出―（『国語科教育 第七十八集』全国大学国語教育学会 2015.9）単著 査読付き
	〈論文〉古典学習における主題単元のテーマの設定 ―「学習者にとっての問題調査」から―（『教育学研究紀要 第60巻』中国四国教育学会 2015.3）共著
	〈研究報告書〉2012～2014年度科学研究費補助金基盤研究（C） 小・中・高一貫の「伝統的な言語文化」の教育カリキュラムに基づく授業創造に関する研究（渡邊春美、信木伸一、武久康高、富安慎吾 2015.3）共著

## 令和6年度教育研究活動報告書

氏名	信木 伸一	所属	教職支援センター
学位	博士（教育学）広島大学	職位	特任教授
専門分野	国語教育学		

IV 社会活動			
委員会及び協議会委員（本年度1年間の活動状況）			
	委員会等の名称	委員長・委員等の別	出席回数（回）
(1) 尾道市関係	尾道市教科用図書選定委員会	委員長	6回
	尾道市立栗原中学校学校関係者評価委員会	委員	2回
	尾道市個人情報保護審議会	委員長	2回
	尾道市情報公開審議会	委員長	2回